※令和３年度以前入学生用

２　地理歴史・公民

学校番号	3033

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　政治・経済」　（第一学習社）						
副教材等	「政治・経済資料 2023」（とうほう） 「2024 年入試ベストセレクション・大学入学共通テスト政治・経済重要問題集」（実教出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治、経済、国際関係を理解することで、共通テストにおける高得点を目標とする。
・現代社会の諸課題について主体的に考察させる。
・公正な判断力を養い、良識ある公民を育てる。

２ 学習の到達目標

・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代の政治、経済などの諸課題について正しく理解させ、公正な判断力を養成する。
・個人と社会生活との関係性について、深く考察し、主体としての自己の確立をめざす。
・現代社会の様々な課題について、主体的な思考が行えるようにする。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を深め、意欲的に課題を追究するとともに、これらに関わる現代の諸課題を考察し、個人としてのあり方生き方を考えようとする。	社会の中で他者とともに生きる主体的自己のあり方について考察、探究するとともに、良識ある公民として主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会に関する諸資料を様々なメディアを利用して、適切に選択し、他者とともに生きる主体的自己の確立に資するよう活用している。	現代の社会的事象と人間としてのあり方生き方などに関わる基本的な事柄を理解し、その知識をきちんと身に付けている。
主たる評価方法	レポート 問題集、授業態度	定期考査 レポート	定期考査 レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代の政治	・政治と法の機能	○	○		○	a:民主主義の意義と課題に対する関心を高め、それを意欲的に探究し、社会の中で他者とともに生きる自己の生き方について考えようとしている。 b: 基本的人権の重要性に関して、自分の体験などから、課題を見つけ、公民としての正しい生き方の確立に向けて探究し、考察している。 c:日本国憲法の成立過程とその意義、また国家の政治体制に関する諸資料を資料集やメディアから収集している。 d:現代の国際社会における諸課題を考察し、複雑な要因についての理解を深め、望ましい判断力、行動力を身に付ける。	問題集 授業態度 定期考査 レポート
		・人権保障と法の支配	○	○		○		
		・議会制民主主義と世界の政治体制	○	○		○		
		・日本国憲法の基本原理	○	○	○	○		
		・平和主義と自衛隊	○	○		○		
		・基本的人権の保障と新しい人権	○	○	○	○		
		・国会の組織と立法	○	○		○		
		・内閣の機構と行政	○	○		○		
		・裁判所の機能と司法制度	○	○		○		
		・地方自治制度と住民の権利	○	○		○		
		・政党政治と選挙制度	○	○		○		
		・民主政治における世論の役割	○	○		○		
		・国際社会と国際法	○	○		○		
		・国際連合の組織と役割	○	○		○		
		・国際政治の動向	○	○		○		
		・国際紛争と難民問題	○	○		○		
		・国際平和と日本の役割	○	○	○	○		

※令和３年度以前入学生用

2学期	現代の経済	・経済社会の発展	○	○	○	○	a:経済問題に関して、人間が生きていく上においての重要性を認識し、多くの社会的、経済的事象に関心を持ち、自らの課題としてとらえようとしている。 b:資本主義に代表される経済体制の歴史と現状を理解し、その問題点についても考察し、今後の自らのあり方、またよりよい社会のあり方について多面的に考察することができる。さらに、広い視野に立ち、公正に判断し、様々な方法で適切に表現している。 c:国内および国際的な経済の諸課題に関して、教科書、資料集を手掛かりとする他、書物や新聞記事、テレビ報道やインターネットなどを利用し、適切な判断を行いながら、経済問題についてのさらなる理解を深めようとしている。 d: 複雑に絡み合う経済活動についての様々な知識を学習の基盤とし、さらに理解を深め、諸課題を自らの課題として結びつけて理解し、社会人として、自立し、自活していくことを可能とする人格の形成に生かす知識として身に付けている。	問題集 授業態度 定期考査 レポート
		・経済主体と経済活動	○	○		○		
		・市場経済の機能と限界	○	○	○	○		
		・経済成長と景気変動	○	○		○		
		・財政のしくみとはたらき	○	○		○		
		・金融のしくみとはたらき	○	○		○		
		・物価の動き	○	○		○		
		・日本経済の歩み	○	○		○		
		・中小企業の地位と役割	○	○		○		
		・農業の現状と課題	○	○		○		
		・消費者問題	○	○		○		
		・高度情報社会の進展と課題	○	○		○		
		・労働問題	○	○		○		
		・社会保障制度の充実	○	○		○		
		・環境保全と資源・エネルギー問題	○	○		○		
		・国際経済のしくみ	○	○	○	○		
		・国際協調と国際経済期間の役割	○	○		○		
		・国際経済の諸問題と日本の役割	○	○	○	○		

※令和３年度以前入学生用

３学期	現代社会の諸課題	・少子高齢社会と社会保障 ・地域社会の変貌と住民生活 ・雇用と労働をめぐる問題 ・産業構造の変化と中小企業 ・農業と食糧問題 ・地球環境と資源・エネルギー問題 ・国際経済格差の是正と国際協力 ・国際社会における日本の立場と役割	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代社会における多くの課題から、関心のある問題を選択し、自己の課題とつなげて意欲的に追及している。 b:現代社会における多くの課題を、多角的に考察し、自らの課題と位置づけることによって、広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。 c:現代社会における多くの課題に関する諸資料を、書物や新聞記事、テレビ報道、インターネットなどのメディアを通して収集し、課題を解決するための材料として活用している。 d:現代社会における多くの課題を、１学期、２学期において学んだ政治・経済、国際関係の知識を用いて、自己の課題とつなげて理解する力を身に付けている。また政治、経済、国際関係の知識を、今後社会の中で、よき社会人として生活していくことを可能とする人格の形成に生かす知識として身に付けている。	問題集 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。